

# ハイパーコンバージドインフラストラクチャ(HCI)の導入効果を最大化する「日立HCIソリューション」

ビジネス環境の急速な変化に対応するため、IT基盤の柔軟な拡張と、容易な運用を両立するHCIを導入する企業が増加しています。日立は、HCIの導入効果を最大化するために、導入から運用までをワンストップで支援する「日立HCIソリューション」を提供。「JP1」によるシステム全体のリソース監視や、運用の自動化で、導入後の運用課題を解決し、お客さまニーズに幅広く対応したHCI環境を実現します。

## HCI導入で期待した効果とのギャップ

HCIは、サーバ、ストレージ、SANスイッチを、IAサーバ上に一体化した新しい形態の仮想化基盤です。複数の物理サーバにまたがったサーバリソースとストレージリソースを1つの仮想的な共有プールとして利用できるのが特長です。従来型のサーバ仮想化環境より「構成がシンプルで運用などのコストが削減できる」「サーバを追加するだけで容易に拡張可能」「ベンダーがハードとソフトを検証済みの構成で提供するため迅速に導入できる」といったメリットから、サーバ仮想化基盤やVDI基盤などの用途で市場に浸透し始めています。

しかし、実際にHCIを導入した企業からは「期待したほど効果を得られていない」といった声もあります。その上位を占めるのは「運用管理を一元化できなかった」「運用管理を効率化できなかった」「導入時間を短縮できなかった」という意見です。

こうしたHCIの導入と運用に関わる課題をトータルに解決するのが「日立HCIソリューション」です。日立は、他社にはない独自の運用管理ツールとサービスを提供することで、

HCIの導入から仮想化基盤の構築、運用までをワンストップでサポート。IT部門の管理負荷を軽減し、本来の業務に集中できる、真のHCI環境を実現します。

## JP1でシステム全体の運用管理を一元化

日立HCIソリューションでは、日立アドバンストサーバ HA8000Vに、VMware vSAN™を搭載した「日立HCIソリューション for VMware vSAN™」と、Nutanix Enterprise Cloud OSを搭載した「日立HCIソリューション for Nutanix」をラインアップ。それぞれ、拡張性を重視した標準タイプと、ストレージ容量を重視した大容量タイプを用意しています。

また、日立独自の運用管理ツール「JP1」も標準で搭載しています。これにより、HCIの仮想マシンの管理だけでなく、その上位の業務システム（アプリケーション/ミドルウェア/データベース）と物理リソースの関連性までをリアルタイムに可視化することが可能となります。障害対応の迅速化やリソース対応の最適化までを支援し、システム全体の運用管理を一元化することができます。

### 基本メニュー体系

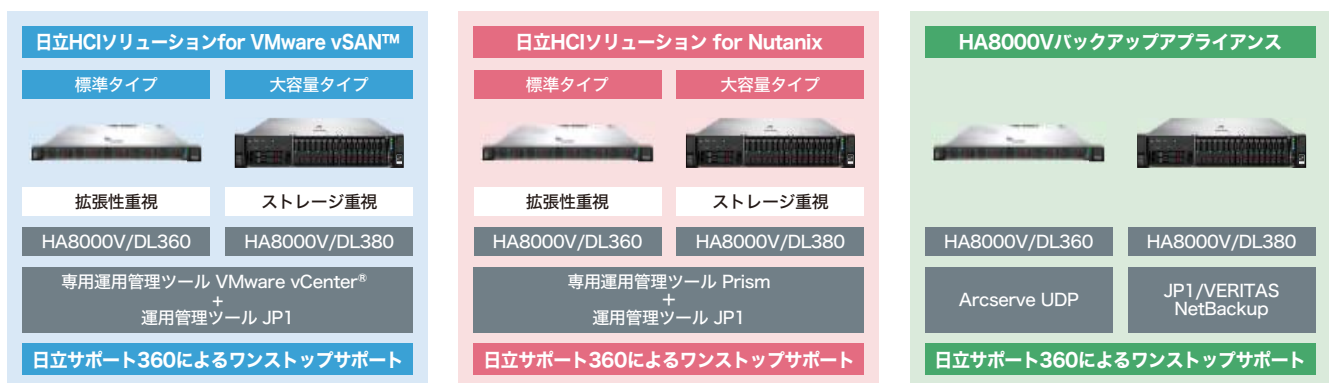


図1 日立HCIソリューションの基本体系

## ■ 手作業の自動化で運用管理を効率化

HCIで集約された仮想化環境は、物理サーバ(ノード)の追加が容易になる反面、ノード監視対象が増える傾向にあり、これが日々の運用管理が煩雑化する大きな要因となっています。

日立HCIソリューションなら、頻繁に行われる設定変更や、仮想マシンの起動・追加・停止・デプロイに加え、システム稼働中のファームウェア/ドライバの更新(ローリングアップデート)といった操作も、JPIで簡単に自動化することができます。これにより、手作業の負担と人為的ミスを減らし、同じ作業品質を維持することでシステム全体の安定稼働に貢献。運用管理の効率化を実現します。

HCIを構成するハードウェアとソフトウェア、バックアップアプライアンスといった製品群をすべて検証済みの組み合わせとして提供するほか、問い合わせ窓口も「日立サポート360」で一本化するため、万一の際も迅速な復旧をサポートします。

## ■ 短期間で確実なサービスインを支援

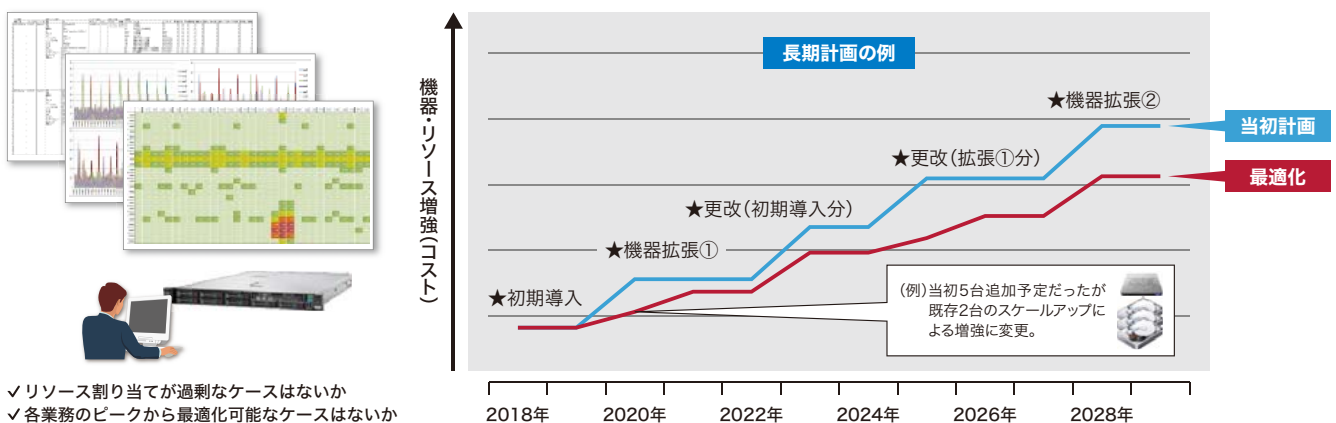
一般的にHCIは、導入時は構築済みの環境として提供されますが、導入後は、VM(仮想マシン)作成などから着手する必要があります。加えて、バックアップの設定や電源運用、クラスタ環境の構築など、稼働させるまでには想像以上の手間と時間がかかる場合があります。そこで日立HCIソリューションでは、お客さまの業務要件や特性に合わせた各種オプションサービスやバックアップアプライアンスなどをワンストップで提供。短期間で確実なサービスインを支援します。

また、導入コストがネックとなるVDI(仮想デスクトップ基盤)用途に向けては、HCI基盤をベースにした、「かんたんVDIモデル スケールアウト型VDI」を用意。小規模構成でのスモールスタートを安心・迅速にできます。

これからも、「日立HCIソリューション」を継続的に強化し、お客さまのITシステムにおける導入・運用コストの最適化を支援していきます。

### 【活用例】業務からハードウェアまで関連付けたリソース管理でコスト最適化

- 構成情報やリソース利用状況の可視化&レポート出力
- 業務単位・仮想マシン単位でリソースの過不足を分析しやすく、再配分の是非や適材適所なスケールアウト・スケールアップ計画の策定が容易に



- ✓リソース割り当てが過剰なケースはないか
- ✓各業務のピークから最適化可能なケースはないか

図2 HCIから業務システムまでリソースを一元管理

#### お問い合わせ先

(株)日立製作所 ITプロダクツ統括本部 HCI拡販センタ  
<https://www.hitachi.co.jp/soft/hci/ask/index.html>



#### 情報提供サイト

日立HCIソリューション  
<https://www.hitachi.co.jp/soft/hci/>

